

---

SweeTColor

抹里

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト  
<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

SweetColor

### 【Nコード】

N5449J

### 【作者名】

抹里

### 【あらすじ】

天崎高校1年の福士奈央は登校中の駅でクラスメイトの有未奈月とぶつかり、その拍子に散らばった鞆の身を取り違える。

次の日から、駅で有未と会つと一緒に電車に乗るようになり学校でも話すようになって…？

F i r s t .

あー、電車出ちゃった。

ドンッ

「きゃあ!」

「わ?!」

階段を走って上ってきた女の子にぶつかって、互いにその場に崩れる。

瞬間、駅の階段に教科書やポーチ、ピンクのペンケース…といったいかにも女子らしいのカバンの中身と俺の教科書たちが水のように雪崩れ落ちていった。

「ごめん、大丈夫?」

同じ制服…天学の生徒だ。

自ら起き上がり声をかけると「いててー」と彼女も顔をあげた。

「私こそごめんなさい!ってあれ、福士くんだー!」

「あ、有末さん」

「ごめんね、拾おつか。」

彼女の教科書を拾い上げ、渡す。

そして彼女も俺の教科書を拾うと、俺に渡した。

「ごめんねー。」を繰り返しているが、何故か楽しそうに広い集めている。

同じクラスの有末さんは、クラスメイトだけど話しかけられれば返事を返す程度の仲だ。

彼女は明るく、人なつっこい性格らしくクラスでは皆に可愛がられ

ている。

背がちっちゃくて、顔もそこそこなから男子にも人気があるみたいで俺にはわからないが周りの奴らが可愛い可愛いと騒ぐ中の1人でもある。

「ふうー！でも電車行つたあとで人が居なくて良かったね！」

「そうだね。」

電車が出た後の静かな駅のホームに、2人の会話が響く。

ベンチに2人座るのは気がひけて、俺は隣の柱にもたれていた。

「…なんで逆走してたの。」

「え？あー、ちょっと用事があつただけど…でももういいや。

福士君は電車乗り遅れちゃったの？」

彼女は携帯の時間を見てから、こつちを向いた。

目が合うが、思わず目をそらし白い飛行機雲に視線を向ける。

そういえば、教科書を拾っている間も何度か携帯を確認していたから誰かと約束していたのかもしれない。

「…まあ。」

「

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5449j/>

---

SweetColor

2011年4月17日13時31分発行